

# 平成 28 年度 第 2 回賛助会員事業推進連絡会 議事メモ

日時：平成 28 年 12 月 13 日(火) 15 時 00 分 ～ 17 時 30 分

会場：ロイヤルホールヨコハマ2階「ヴェルサイユ」

## 1、事務局長挨拶

## 2、2017 年の YCVB 事業等の方向性について

### (1)横浜の動向、財団事業の方向性について

- ・ インバウンド対応2年目として、更に拡充していく。
- ・ 市場分析に基づくターゲット国・手法の選定、県や事業者との連携、受入環境整備の多様化と掘下げ、訴求力あるコンテンツの強化
- ・ 横浜のプロモーション(横濱ハイカラプロモーション)

### (2)海外誘客事業：

- ・ 2016年事業(「日本シルクロード」商品化事業、「夜景とグルメ」誘客事業、「横濱ハイカラ」プロモーション)
- ・ 各市場プロモーション(中国、マレーシア、インドネシア、台湾)
- ・ 現地イベント参加(韓国、タイ)
- ・ 神奈川県との連携(旅行会社との連携強化、Travel Fair 出展、旅行商品販売、ファミリー向け PR)
- ・ 訪日クルーズ乗船客向けプロモーション(市や JNTO との連携、ランドパッケージ造成、地元と連携したおもてなし支援)

### (3)国内誘客事業：

- ・ 国内における旅行消費額に占める日本人国内宿泊旅行の割合
- ・ 観光事業コンテンツ強化、魅力・ブランド浸透(着地型観光・観光資源開発事業)
- ・ 教育旅行を主軸とした横浜セールス・プロモーション
- ・ 誘客につながる事業への支援 (旅行会社による横浜商品の造成支援、観光プロモーション認定事業)

### (4)MICE 振興事業：

- ・ MICE を取巻く環境(海外新規施設とサステナビリティ、国内新規施設建設計画、市内ホテル新設計画)
- ・ 国際会議誘致(国内外トレードショー、学協会セールス、大学研究機関との連携強化、リサーチ強化)
- ・ インセンティブの誘致(アジアや国内の商談会やセミナーへの参加、ランドオペレーターとの連携強化)
- ・ MICE の支援と情報発信(開催支援、MICE 都市横浜の情報発信)、2017 年開催予定大型国際会議

### (5)来訪者支援事業：

- ・ 訪日外国人の滞在中の情報収集は、紙媒体、観光案内所も重要
- ・ 市内観光案内所及び民間観光案内所のインバウンド受入対応状況
- ・ 多言語強化および多文化対応の推進(外国人観光客受入マニュアル、シーン別会話など)

- ・ 多文化対応に係るコンテンツ収集と情報提供
- ・ 観光案内、発信機能としてのタッチポイント拡大
- ・ セミナー開催予定、横浜版インバウンドパス(仮称)実験事業(第2弾)、事業者連携企画創出事業の新テーマ拡充、

(6) 広報プロモーション事業:

- ・ 季節に合わせた情報発信による誘客【日本語】(旬のコンテンツ発信、WEB 機能強化、SNS 運営)
- ・ 外国人目線での情報発信による誘客【外国語】(外国人目線によるコンテンツ充実、トリップアドバイザーとの連携継続、全面リニューアルした中国語サイトの活用)
- ・ 訪日客受入に向けた多言語発信の強化(外国語サイトのコンテンツ充実および新規言語サイトの創出)
- ・ 横浜の認知度アップに向けた国内外向けプロモーション(ユニークな観光資源を活用した国内外プロモーション、ラグビーW杯・オリパラ情報の発信、横浜観光親善大使を活用した広報)
- ・ 横浜ハイカラプロジェクト(テーマに基づく企画、イベント創出、実施)

3、横浜市および神奈川県からの報告

(1)「ヨコハマトリエンナーレ 2017」について(横浜トリエンナーレ組織委員会より)

- ・ 横浜で3年に1度行われる現代アートの国際展  
 会期: 平成 29 年8月4日(金)~11月5日(日) 88日間  
 タイトル: 「島と星座とガラパゴス」 ⇒孤立や接続性、想像力や指標、独自性や多様性  
 主会場: 横浜美術館、赤レンガ倉庫等
- ・ 応援企画募集(タイアップサービス企画、応援プログラム参加)、プロモーション協力の依頼

(2)「第 50 回アジア開発銀行年次総会」横浜開催について(文化観光局アジア開発銀行年次総会担当より)

- ・ 2017 年総会は第50回、グローバル MICE 都市としての知名度の向上を目指す  
 会期: 平成 29 年5月4日~7日  
 会場: パシフィコ横浜および周辺ホテル  
 規模: 約 4,000 人参加
- ・ 横浜市の役割、体制、今後の主な予定について

(3)神奈川県観光魅力創造協議会事業について(神奈川県産業労働局インバウンド観光担当者より)

- ・ 神奈川県観光魅力創造協議会設立について
- ・ 観光資源の発掘および磨き上げに関する案内(地域の観光資源に関する調査票提出依頼、出前セミナーのご案内)
- ・ 観光客受入環境整備のための財政需要把握調査について

4. 2017 年以降の鉄道各事業各社の取組について

- (1)京浜急行電鉄株式会社「京急グループのインバウンド施策について」
- (2)相鉄ホールディングス株式会社「Thinking of the next century.」
- (3)横浜市交通局「観光誘客に向けた回遊性向上の取組」

以上